

化学療法指示書

エリブリン+Tmab+PER 療法

患者ID			アルコール過敏		
患者氏名			指示医師		
身長	cm	体重	kg	体表面積	m ²

適応疾患
HER2陽性
進行・再発乳がん

投与スケジュール

Day (投与日) (1 /) (8 /) (15 /) (22 /) (29 /)

pertuzumab
(420mg)
(初回のみ840mg)



trastuzumab
(6mg/kg)
(初回のみ8mg/kg)



Eribulin
(1.4mg/m²)



Day1: 月 日

生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①
生理食塩液 100mL
デキサート6.6mg 1V



本体②
生理食塩液 250mL
パージェタ mg



※ 初回のみ
生理食塩液250mL 1V
パージェタ 840 mg

生理食塩液100mL 【30分経過観察】



* パージェタの初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる

本体③
生理食塩液 250mL
トラスツズマブBS mg(6mg/kg)



※ 初回のみ
生理食塩液250mL 1V
トラスツズマブBS mg(8mg/kg)

本体④
生理食塩液 50mL
ハラヴェン ()mg



* トラスツズマブBSの初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる

本体⑤
生理食塩液 100mL



Day8: 月 日

生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①		
生理食塩液		100mL
デキサート6.6mg		1V



本体②		
生理食塩液		50mL
ハラヴェン	()	mg



本体③		
生理食塩液		100mL



ハラヴェン 投与開始基準(各サイクル共通)

下記の基準を満たさない場合、投与を延期

- ・好中球数: 1000/mm³以上
- ・血小板数: 75000/mm³以上
- ・非血液毒性: Grade2以下

ハラヴェン減量の目安

減量前の投与量	→	減量後の投与量
1.4mg/m ²	→	1.1mg/m ²
1.1mg/m ²	→	0.7mg/m ²
0.7mg/m ²	→	投与中止を考慮

ハラヴェン 各サイクル1週目

前サイクルにおいて下記の副作用が発現した場合、減量した上で投与

- 7日間を超えて持続する好中球数減少(<500/mm³)
- 発熱または感染症を伴う好中球減少(<1000/mm³)
- 血小板減少(<25000/mm³)
- 輸血を要する血小板減少(<50000/mm³)
- Grade3以上の非血液毒性

ハラヴェン 各サイクル2週目

投与再開基準	投与延期後1週間以内に投与開始基準を満たした場合、減量して投与
休薬基準	投与延期後1週間以内に投与開始基準を満たさない場合